

## 申込方法

■ 126円の往復はがきの往信用に、①郵便番号・②住所 ③氏名（ふりがな）

④性別・⑤年齢（小学生コースは学年・よみがな）・⑥電話番号

⑦教室名を、返信用に返信先をご記入のうえ、

〒676-0807 米田町島526番地 高砂市総合体育館

までお申し込み下さい。

※市外在住で市内在勤の方は要勤務地記入

皆様のご参加  
お待ちしております



■ **申し込み締め切り日：4月10日（金） ※当日消印有効**

## 注意事項

■ お一人様1枚1教室のお申し込みとなります。

■ 申込者多数の場合は、市内在勤在住の方を優先させていただきます。

■ 天候や会場の都合（災害時）により休講となる場合があります。

## 「フジ」

市ノ池公園藤棚

バラ園の中心に藤棚がある。毎年50センチ以上の花がぶら下がるはずであるそんなフジも、株元から出た芽が棚の上に登り、ノダフジやヤマフジも入り混じって開花している。初めて見た開花状況は一昨年5月。ヤマフジのみが開花しているように感じられた。

多分ノダフジのピンクや九尺フジは無いだろうと一昨年2月に接ぎ木をしていた。昨年の3月に思い切った剪定をして昨年の開花を見ると、ちゃんとノダフジも開花しているように思える。

でも花は短い。まだヤマフジも開花している。何としても、私の任用期間が終了するまでの間に、綺麗なフジの花がぶら下がる藤棚にしたいと考えている。一般的な公園の藤棚は棚下の部分はヤマフジを使用し、2.4メートルの高さの所にノダフジを接ぎ木して、藤棚用として生産されている。

フジのツルには右巻きと左巻きがあり、ツルを上から見て右巻きと左巻きとに区別されているようである。私の面白雑学先生が言われるのには、「フレミングの法則」のような感じで、左手人差し指の方向にツルが巻き、親指の方向にツルが巻き上がるツルを左巻き、その反対を右巻きにしたら解りやすいと語られていました。

現在、ピンクのノダフジ、九尺フジ、八重黒龍、八王子の白フジを接ぎ木し、それらを主枝にして藤棚を作り直そうと考えている。直ぐには開花しないが将来的に立派な藤棚になり、『わあ～～綺麗やなあ～～』と来園者に言ってもらうのが夢である。

また、お目に掛かりましょう。

みどりの相談所 講師（樹木医） 高田 正